簡単セットアップガイド

－ DFG/HDMI －

ドキュメント Ver：　2.0
更新日： 2025 年 5 月 7 日

内容

１．動作までの３ステップ 3
ステップ１　USB3.1 ケーブルを使用して、DFG/HDMI と PC を接続する 3
ステップ２　ドライバのインストール 4
補足：ドライバのアンインストール 5
ステップ３　キャプチャソフトのインストール 6
２．IC Capture を起動し、デバイスを選択する 7
３．IC Capture の機能紹介 9
１．ツールバーを全て表示する 9
２．静止画保存：スナップショット 9
３．静止画保存：シーケンス保存 10
４．静止画保存：自動シーケンス保存 12
５．動画保存 13
６．ライブ表示をしながら特定のタイミングで静止画保存 14
７．構成ファイルの保存と読み出し 14

準備するもの

・DFG/HDMI
・USB3.1 Gen1 TypeC のケーブル
※DFG/HDMI にはケーブルは付属しておりませんので、必要な際は別途ご注文ください。
・インターネットに接続できる USB ポートがあるパソコン
※ドライバ、ソフトウェアは弊社 HP よりダウンロードいただけます。

ダウンロードサイト：　https://www.argocorp.com/software/DL/tis/index.html

１．動作までの３ステップ

ステップ１　USB3.1 ケーブルを使用して、DFG/HDMI と PC を接続する

・DFG/HDMI には USB ケーブルは付属しておりませんので、必要な際は別途ご注文ください。
・USB3.1 Gen1 タイプ C のケーブルをご利用ください。

ステップ２　ドライバのインストール

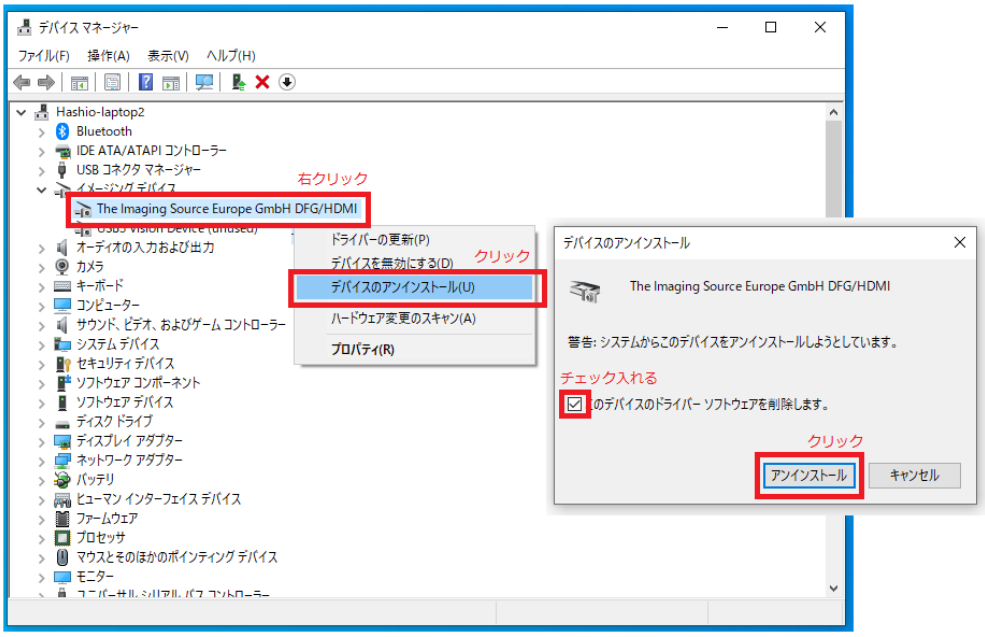
「７．HDMItoUSB コンバータ」のドライバソフトをダウンロードサイトからダウンロードして、インストールしてください。

ダウンロードサイト：　https://www.argocorp.com/software/DL/tis/index.html#tab2

・適切なドライバをインストールしてください。
・ドライバが適切かどうかは、IC Capture で必ずご確認ください。

補足：ドライバのアンインストール

ドライバのアンインストールはデバイスマネージャーを開き、下記の手順で行います。
Windows アイコンを右クリックし、デバイスマネージャーを選択すると、デバイスマネージャーが開きます。



デバイスのアンインストールで「このデバイスのドライバーソフトウェアを削除します。」にチェックを入れてください。その後、デバイスマネージャーの画面を開いたまま PC 側の USB ケーブルを抜き差しします。USB ケーブルを抜き差ししても、ドライバがイメージングデバイスにリストされなくなったらアンインストールは完了です。
PC に付属している WEB カメラの動作がいつもと違う場合や、TIS のドライバを再インストールする時などにアンインストールをご検討ください。

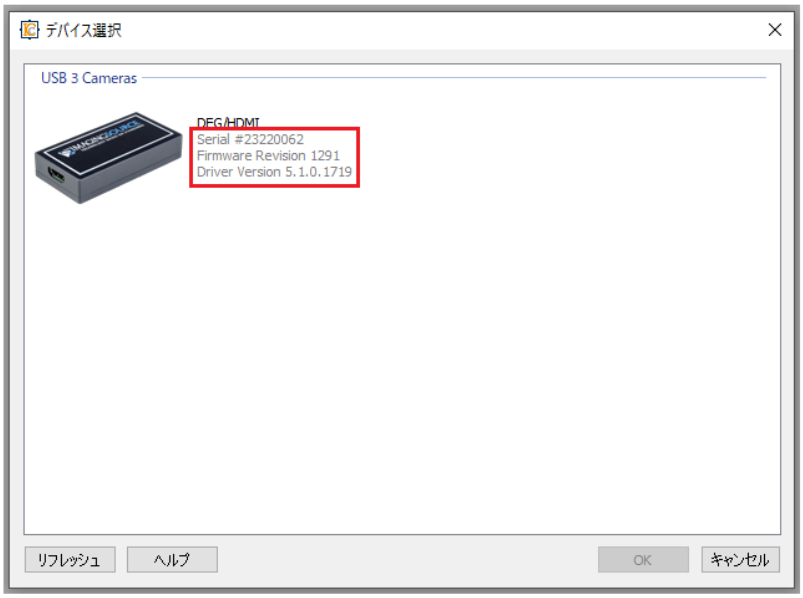
ステップ３　キャプチャソフトのインストール

IC Capture を以下よりダウンロードし、インストールします。

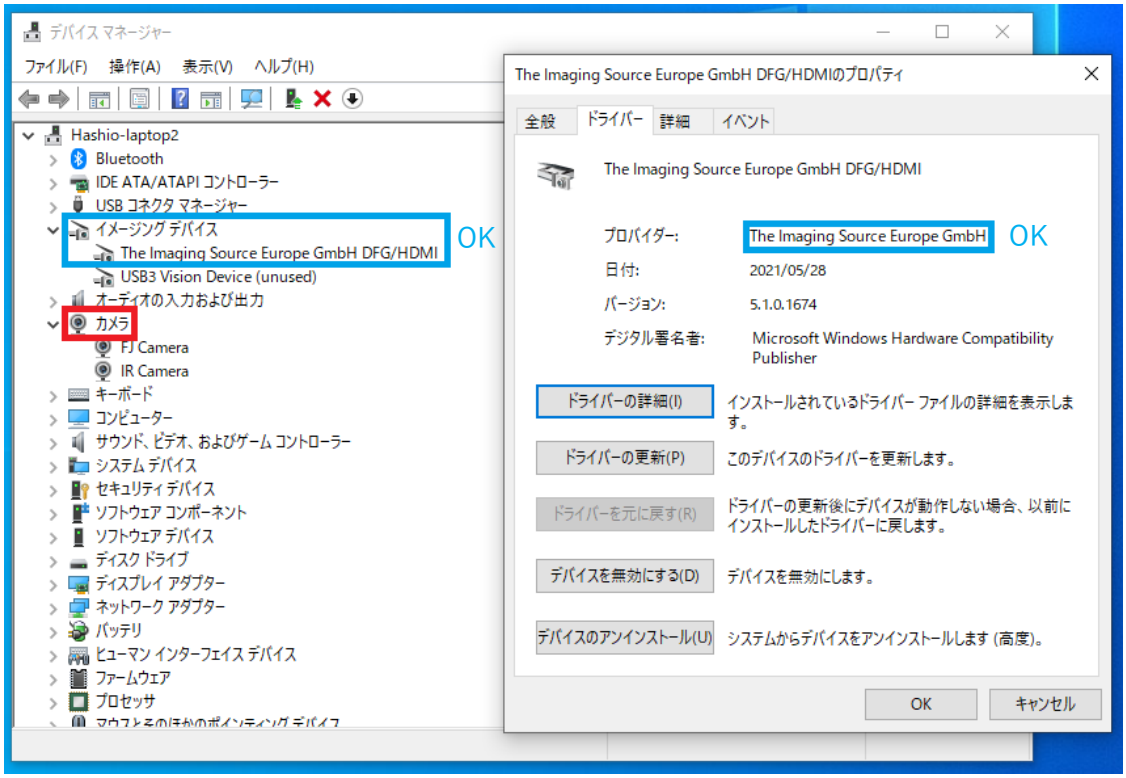
ダウンロードサイト：　https://www.argocorp.com/software/DL/tis/index.html#tab3

２．IC Capture を起動し、デバイスを選択する

IC Capture のインストールが完了すると、デスクトップに IC Capture のショートカットができますのでダブルクリックで起動します。
下図のようにシリアル番号とファームウェアバージョンが記載されている場合は、そちらを選択し、「OK」をクリックします。
シリアル番号とファームウェアバージョンが記載されていない場合は、ドライバソフトが正常にインストールされていません。



デバイス内部のシリアル番号などの情報をドライバが読み出して IC Capture に引き渡していますので、これが適切に表示させていない場合はドライバがうまくインストールできていないか、The Imaging Source 社（以下 TIS）ではなく、Windows に標準でインストールされている Microsoft 社のドライバで動作している状態です。この状態で動作させると、仕様通りの動作をしないこともあります。ドライバソフトがうまくインストールされているかどうかは、以下のようにデバイスマネージャー（win10 の場合、左下スタートボタン右クリック→デバイスマネージャー）でも確認することができます。



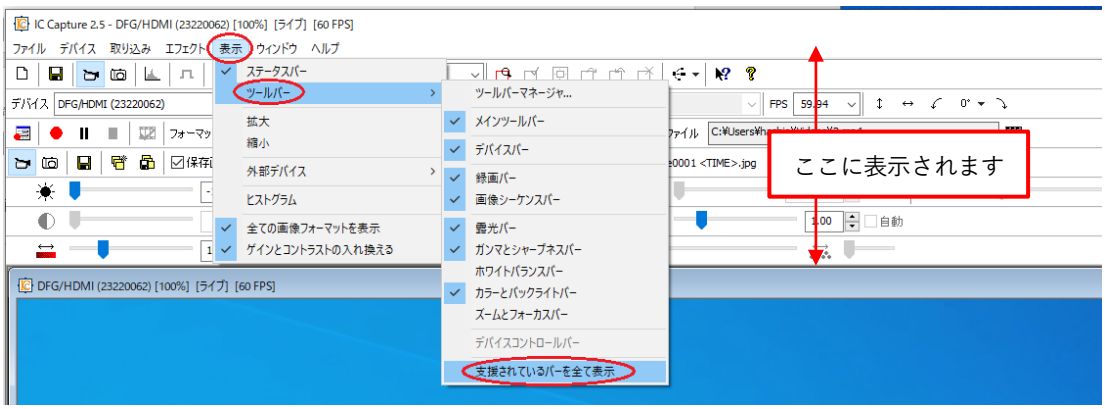
デバイスマネージャーでは、TIS のドライバが正常にインストールされ動作している場合、上図のようにデバイスは、”イメージングデバイス”にリストされます（青枠）。
Microsoft のドライバで動作している場合、デバイスは”カメラ”にリストされます（赤枠）。

DFG/HDMI は WEB カメラのように、汎用的な UVC デバイスとしても動作するため、Microsoft のドライバが当たってしまう事があります。DFG/HDMI の性能を活用いただくには、TIS のドライバをご使用ください。

3．IC Capture の機能紹介

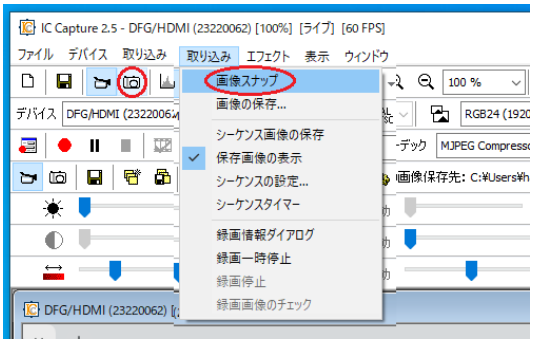
1．ツールバーを全て表示する

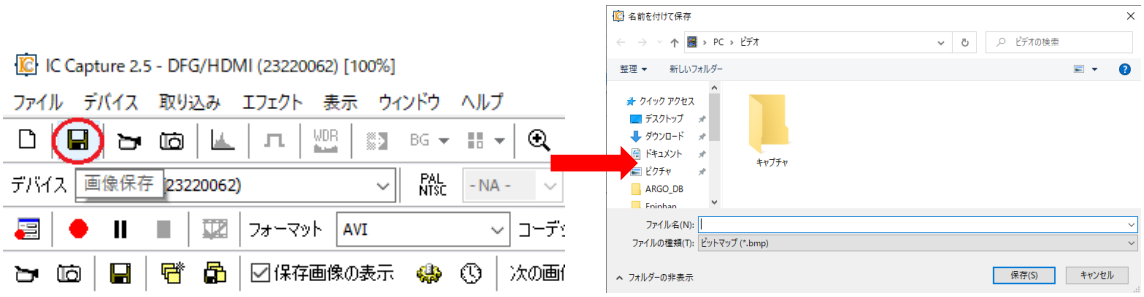
表示→ツールバー「支援されているバーを全て表示」で、IC Capture で利用できるツールバーを全て表示します。



2．静止画保存：スナップショット

画像スナップアイコン（ ）か、［取り込み］＞［画像のスナップ］でライブ表示を一時停止することができます。ここで画像保存アイコン（ ）か、［取り込み］＞［画像の保存］により 1 枚画像を保存することができます。ファイル形式は BMP、JPEG、TIFF いずれかから選択できます。



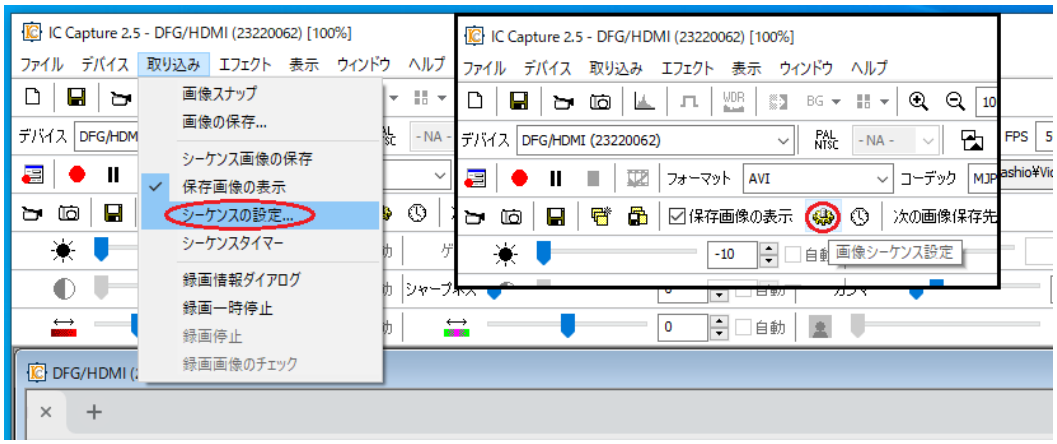


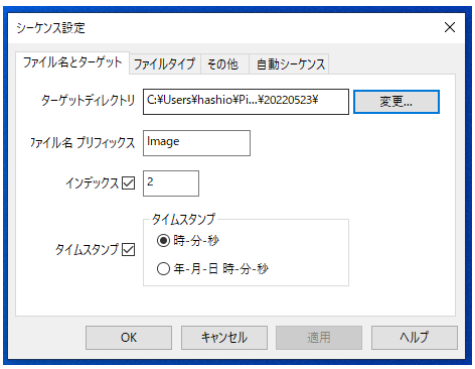
保存先は任意で指定できます。

3．静止画保存：シーケンス保存

特定のタイミングで自動的にファイル名を割り振りながら画像データをストックしていく方法です。IC Capture ではキーボードのスペースキーと、テンキーの”0”にホットキーを割り当てることができ、このキーが押される度に静止画ファイルを作成していきます。画像シーケンス設定のアイコン（ ☑保存画像の表示 ）か、［取り込み］＞［シーケンスの設定］により、シーケンス設定画面が開きます。

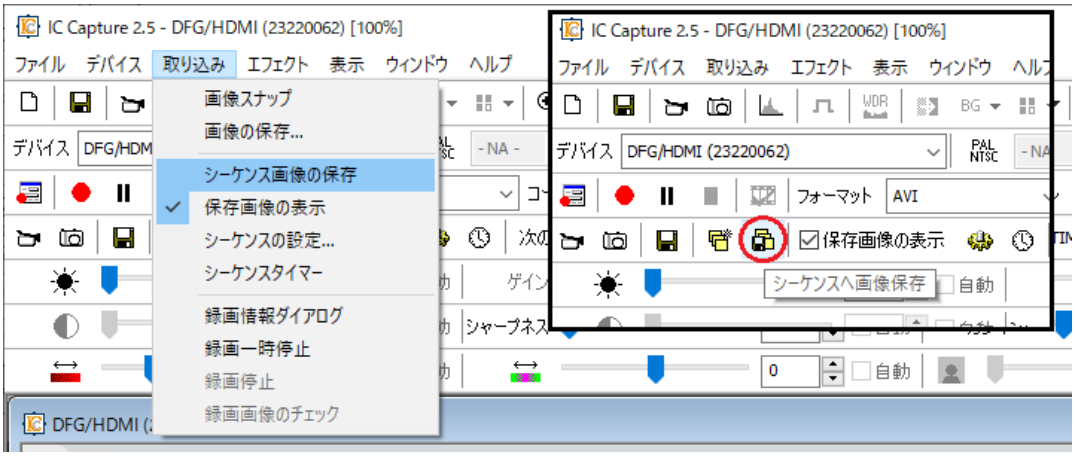
設定画面には、保存先フォルダ名、ファイル名の指定、ファイル形式、ホットキーの割り当てなどを行うタブがあります。タイムスタンプを有効にするとファイル名の後ろにキャプチャ時の日付、時刻が入ります。 ここで設定を行ったあとは、ホットキーが押される度に指定フォルダにファイルが作成されます。





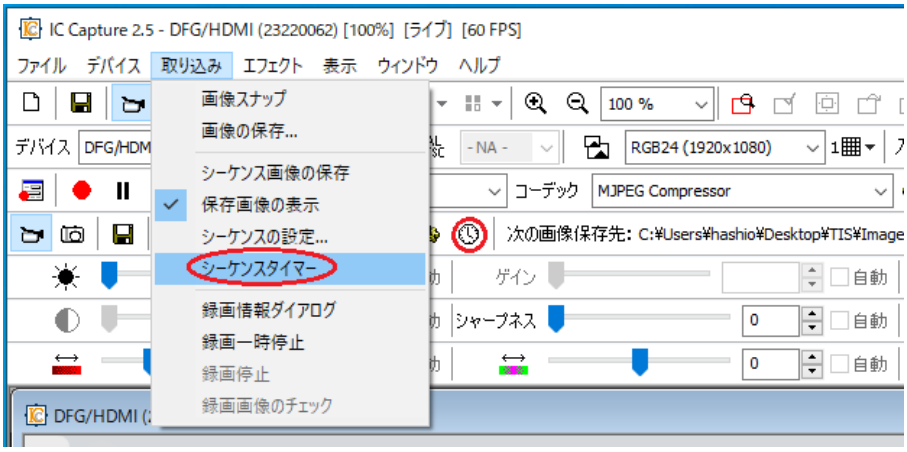
設定画面

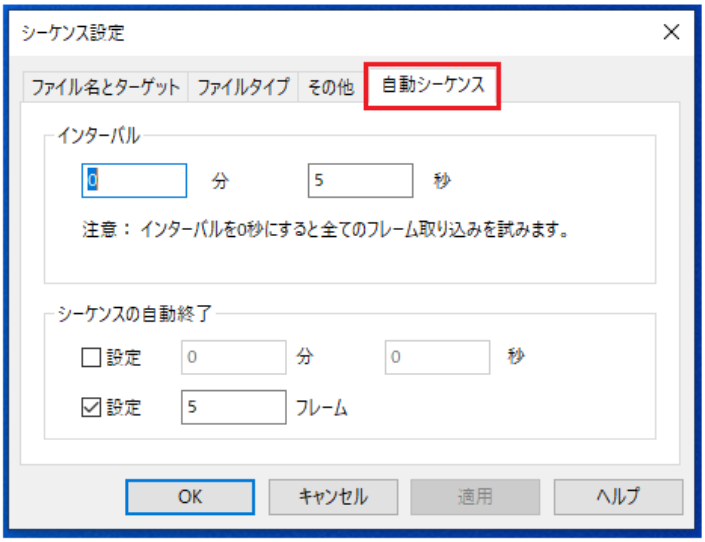
静止画シーケンス保存は、アイコン（ ）か、［取り込み］＞［シーケンス画像の保存］により、開始します。

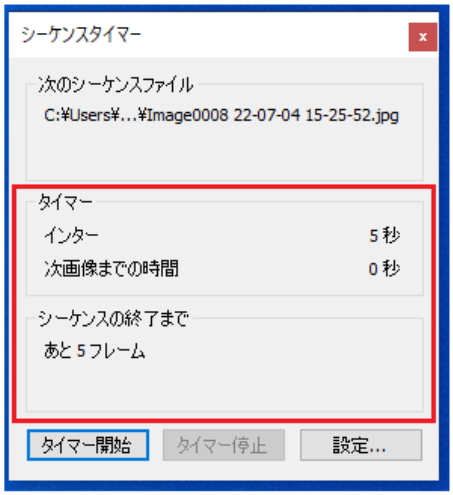


4．静止画保存：自動シーケンス保存

定期的に等時間間隔でファイルを保存が可能です。全フレームキャプチャか、1 秒～60 分の秒単位での指定が可能です。通常のシーケンスキャプチャと同様に予め保存フォルダ、ファイル名などを指定しておきます。その後、自動シーケンスタイマーアイコン（ ）か、［取り込み］＞［シーケンスタイマー］より、シーケンスタイマー画面を起動し、タイマー開始ボタンをクリックすることで、設定した内容で連続的に静止画保存が開始されます。

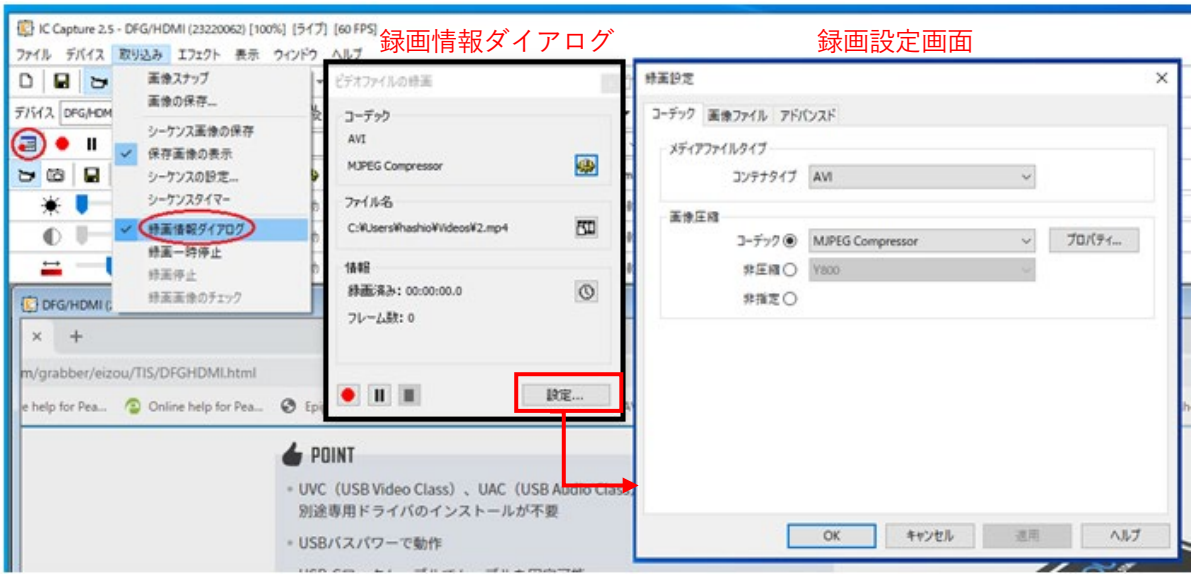




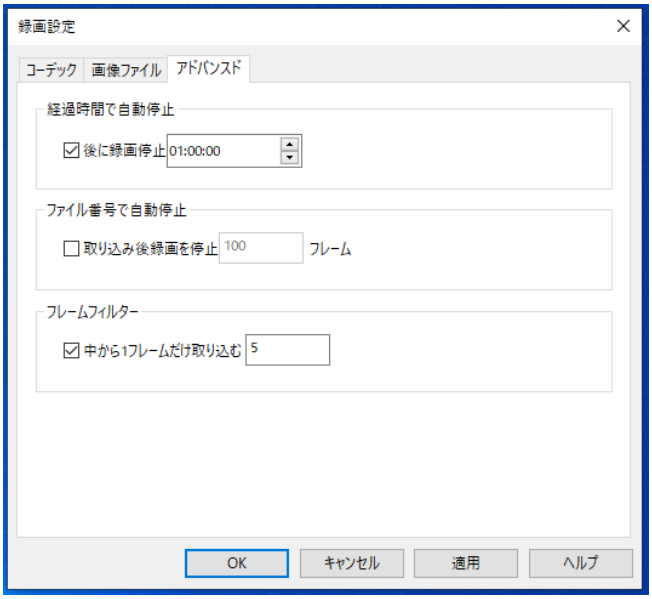


5．動画保存

IC Capture ではデバイスからの取得ストリームをそのまま DirectShow 準拠のコーデックにデータを引き渡ししています。IC Capture 自体は単なる橋渡し役となり、実際の動画ファイルの作成はコーデックが行っています。動画の設定は､録画情報ダイアログアイコン( )をクリックするか、［取り込み］-［録画情報ダイアログ］から呼び出した設定画面より行います。

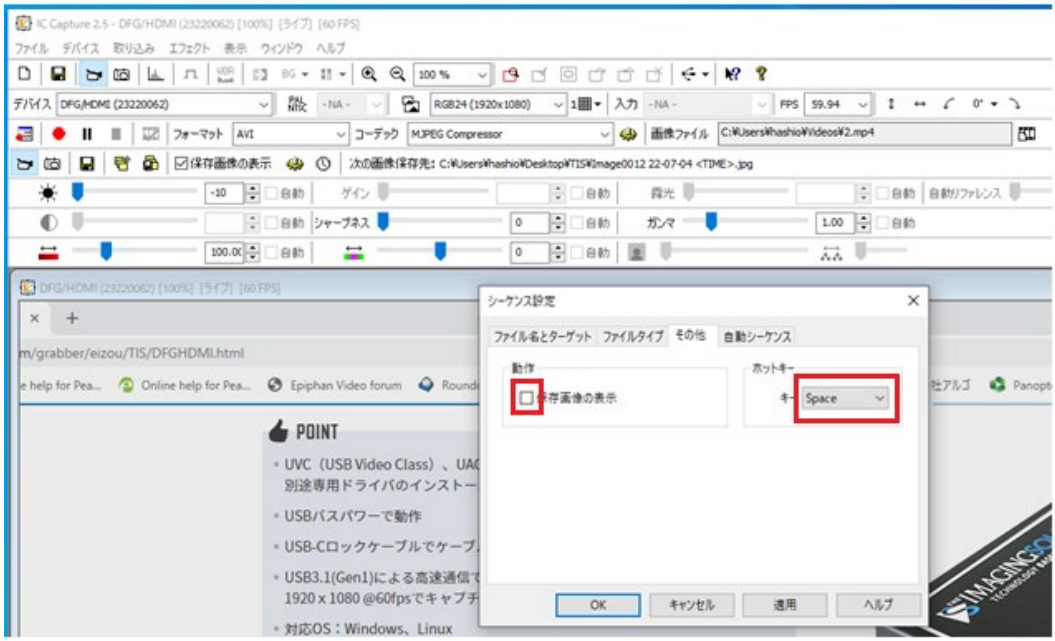


保存に利用するコーデック（圧縮／非圧縮）の指定や、保存先の指定をします。またオプションとして、ファイル名プリフィックス、指定時間経過後／指定フレーム数経過後の録画自動停止、さらに、フレーム間引き間隔の指定ができます。例えば、デバイスからの取得 5 フレームに対して 1 フレームずつ保存していき､1 時間後に自動停止といった指定が可能です。



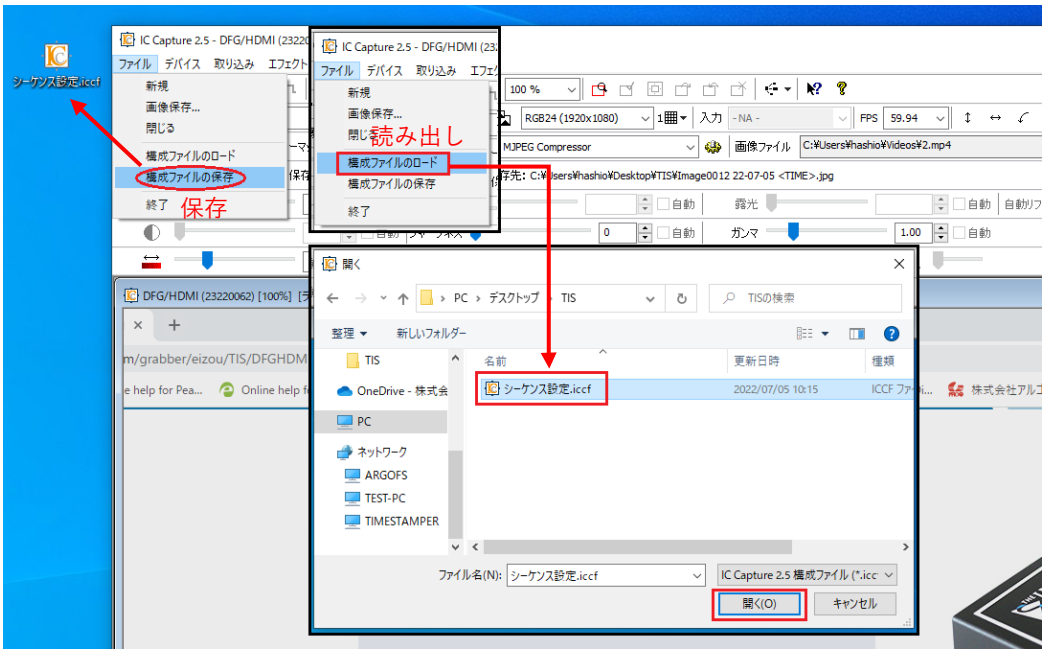
6．ライブ表示をしながら特定のタイミングで静止画保存

［シーケンス設定］にある［保存画像の表示］のチェックを外し、ホットキーを［Space］にすると、ライブ表示をしながら、スペースキーを押すことで指定のフォルダへ画像を保存する事ができます。保存中もライブ表示は継続されます。



7．構成ファイルの保存と読み出し

ファイルから構成ファイル（現在の設定）の保存ができます。その構成ファイルを読み出すと設定内容をそのまま適用させることができます。



Memo

The Imaging Source 日本総代理店

株式会社アルゴ
日本にない技術を世界から　ARGO CORPORATION

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目2－4　新大阪第5ドイビル7F
E-mail：argo@argocorp.com　TEL：06-6151-9283
URL　：www.argocorp.com

HDMI映像信号をUSBでPCに取り込み